

吉野ヶ里こども園の教育・保育とは！？

—1月、子どもたちの興味、好奇心を大きく膨らませ、環境認識遊び！—

園長 山崎立哉

新年あけましておめでとうございます。本年もコロナ禍は変わらず続いています。子どもたちが安心して遊べるよう環境を整えて行きたいと思えます。また、新園舎が2月末に完成する予定です。3月初旬に引っ越しを考えています。保護者皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

こども園では3,4,5歳児に環境認識遊びを取り入れています。保育室、園庭等、子どもたちはそれぞれのフィールドで、主体的に、自発的に遊ぶ毎日を過しています。そんな中で子どもたちはいろいろな物や出来事に興味、好奇心を持つようになります。せっかく芽生えた興味、好奇心をそのままにせず、皆に伝えたり、大人（保育者）がちょっと手伝ったり、ヒントを与えたりしてそれを大きく膨らましたり、皆で共有していく為の活動（遊び）を「環境認識」と呼んでいます。

環境認識のテーマは幅広く、人間、動物、植物、職業、気候、宇宙、乗り物、地域、家族、交通など、子どもたちがこども園生活や社会の動きを通して興味を持つあらゆるものが対象となります。すなわち、子どもを取り巻く「環境」を、遊びを通して「認識」していくのです。

今まで、4歳児は「植物」、5歳児は「友達」「家族」「昆虫」「植物」をテーマに行いました。今学期（1,2,3月）3歳児は「交通」（乗り物）、4歳児は「植物」5歳児は「地域」を各テーマにして環境認識遊びを行います。

この遊びを行う目的は、子どもたちに自分の周りの世界を知ってもらうことです。しかし、物知りな子を育てることではありません。環境を知ることとその過程を通して、子どもたちの日々の生活が豊かになり、環境を保存、より良いものにつくり変える意志と能力が養われ、創造的な人間に育つことです。

子どもたちが環境を知り、周りの出来事やこれから起こることを予想できることで、自立して的確に判断、行動を選択できるような人になってほしいと願います。